

2016年3月期第3四半期 決算説明会 Q&A サマリ

2016年2月5日時点

【FY15 3Q業績について】

Q 3Q業績が比較的好調な理由は？

A 地域では中東や国内が堅調に推移し、合理化投資や設備更新・運用・保守サービス関連の受注を取れていることが主な要因。

Q 国内で好調な業種は？

A 公共事業（上下水道）関連が引き続き堅調。また、原油価格下落と想定されるが、化学も堅調な業種の一つ。

Q トルコの販売代理店買収と、米国企業買収の意図は何か？

A トルコ→現在のビジネスを拡張するため

米国→期待できる注力業種（アップストリーム、電力、化学）における技術力・提案力を高めビジネス拡大につなげるため
なお、中期経営計画では、3年間で約500億円程度の戦略投資枠を設けており、本件はその一環である。

【FY15 年間業績予想について】

Q 年間の見通が保守的にみえるが、どのように考えているか？

A 戦略投資費用の施行が前提の中で、中国の景気減速要因など、受注と売上予想に若干リスクがあると認識している。
しかしながら、営業利益390億円については、最低限の数字として確保したいと考えている。

Q 年間40億円の戦略投資費用は使い切るのか？

A 基本的に新たなステージへ導くための投資は着実に行いたいと考えている。一方で、先行き不透明な情勢の中で、利益とのバランスを考慮しながら慎重にオペレーションしていく。

Q 株主還元や配当について、どのように考えているか？

A 不透明な情勢が続く中で着地を見極め、必要に応じて検討していくことも課題であると認識している。

【FY16 来期見通しについて】

Q 来期の事業環境はどう見ているか？

A 原油価格のさらなる下落や低迷の長期化、新興国経済減速等で先行きを見通すのが極めて難しい状況であり、楽観視はしていない。一方、中東などの地域で「お客様フォーカス」への変革を実行しつつある。「コスト削減」など経営効率改善につとめ、中期経営計画達成に向けて成長基盤を固めていくことに注力していく。

(注) 本資料で提供する情報のうち業績見通し及び事業計画等に関するものは、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいています。従って、実際の業績は、様々な要因により、これらの見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。尚、内容につきましては、理解し易いように部分的に加筆・修正しています。